



すこやかに とばっこげんきっこ

おみらい

vol.227

ハロウィンは、子どもたちが魔女やお化けに仮装してまわり、お菓子をもらったりするお祭りです。イベントなどの機会も増えました。たまには、仮装して出かけ、非日常を楽しんでみませんか？

KIDS PHOTOGRAPH

やんちゃっこ

あまえっこ



小川 あおい 蒼生 ちゃん

令和6年8月13日生まれ(安楽島町)

一歳おめでとー！これからもあおちゃんらしく元気に育ってね。



濱口 なの 凜乃 ちゃん

令和6年6月12日生まれ(安楽島町)

えがおひとつで姉兄たちをメロメロに産まれてきてくれてありがとう



満1歳になる元気なお子さんの写真(デジタル画像可)に25文字以内のコメントを添えて、広報情報係へお送りください。メールでも受け付けています。

✉ koho@city.toba.lg.jp



齋藤 たいが 大雅 ちゃん

令和6年6月25日生まれ(桃取町)

1歳おめでとー♡兄ちゃんと仲良く元気に育ってね！

小竹篤市長の 変革のスイッチ

vol.05

中学生の「ひと夏の経験」

市では、豊かな経験を積んで見識を広めてもらうため、夏休みの中学生体験プログラムを充実させています。

「サンタバーバラ市 中学生派遣・招致事業」

国際姉妹都市提携を結んでいるサンタバーバラ市との中学生の交流事業は、歴史を重ねて、今年31回目となり、累計120人の派遣交流を行いました。

毎年4人の中学生が交換留学しており、まず、約10日間のサンタバーバラでのホームステイを経験し、折り返してサンタバーバラの留学生を約10日間受け入れてもらっています。

ハードな日程ですが生徒たちには大変刺激になり、その後の人生に大きな影響を受ける人も少なくありません。



「パラオ中学生派遣事業」

パラオ共和国への中学生派遣事業は、志摩市と合同派遣

団を組んでおり、今年で2回目です。市が進めている英語検定の3級取得を申し込み条件とするなど、狭き門を通り抜けた4人を5泊6日の行程で派遣しました。

パラオは「海洋教育」「平和教育」「異文化理解」など、目からうろこの教材の宝庫です。帰国報告会に臨んだ中学生たちの達成感にあふれた表情や、自らの体験に裏付けられた言葉には大変感動しました。

「離島甲子園大会」

「離島のこどもたちに交流の場を！」と村田兆治氏が提唱して始まった全国離島交流中学生野球大会、通称「離島甲子園」に今年も離島在住の野球部員14人を派遣しました。

今年は沖縄県の宮古島で実施され、24チームが参加しました。「離島に生まれたことをハンデと思わず、誇りに思う」という選手宣誓が心に響きました。

